



令和
5年度

中学生議会

8月8日、市議会議場で「令和5年度中学生議会」を開催しました。市内各中学校・義務教育学校から計11人が参加し、市政に対しさまざまな質問が投げかけられ、市長および各部長等が答弁しました。牛久市の将来を担う中学生議員の皆さんの質問、それに対する答弁の概要を紹介します。



牛久市の移住政策について

かくま けんたろう
鹿熊 健太郎さん (牛久第三中学校3年)

牛久市は住みやすい都市といわれることが多いようですが、近年人口がやや減少傾向にあるようです。住みやすさを活用した移住者を呼び込むための政策を教えてください。

答弁▶移住者を呼び込む政策として、空家・空地バンク制度、移住者への支援金制度、ひたち野地区に隣接する東端六町に新しい住宅地を整備する事業も進めており、歴史的資産の活用やスポーツを通じたまちづくりにも取り組んでいます。また、市のPRのために、「シティプロモーション」として市の特徴や魅力を発信しています。これからも市民の皆さんや事業者の皆さんとともに、多くの方に移住してもらえるよう市の魅力向上に取り組んでいきます。



牛久シャトーについて

ありふく そうた
有福 颯太さん (牛久第一中学校3年)

牛久シャトーの知名度を上げるために今後どのような取り組みをしていこうと考えていますか。また、私たち地域の小・中学生ができる取り組みがあればお聞かせください。

答弁▶市では、市内で栽培・醸造された「牛久ワイン」製造量の拡大を進めており、牛久シャトーを軸とした「ワインと食」による観光振興事業に取り組んでいます。昨年度は小・中学校の総合的な学習の中で、日本遺産や牛久シャトーについての学びを積極的に進めました。小・中学生の皆さんには、これからも牛久シャトーについて学び、また実際に足を運んで体感していただき、そしてそれを発信して市内外の人に関心を持ってもらうことで、観光客増加につなげていきたいと考えています。



空き家対策活用について

あんどう さら
安藤 紗良さん (ひたち野うしく中学校1年)

空家・空地バンクなど空家対策について教えてください。また、私たち市民ができることはありますか。

答弁▶市では、空家等対策計画に沿ってさまざまな取り組みを実施しています。その一つが「空家の発生予防と抑制」で、空家になる前の意識づけであり、空家・空地バンク制度のほか、空家ガイドブックを配布したり空家無料相談会を開催しています。空家問題は家の継承の問題です。市民の皆さんにも住まいに関し日ごろから家庭内で話をしていただければと思います。



中学校の部活動の地域移行について

つねもり
常森 まあやさん (下根中学校2年)

令和5年度以降、休日の部活動について顧問の先生ではなく、段階的に外部に委託された指導者が部活動を指導するようになって聞きましたが、取り組みの方向性と課題についてお聞かせください。

答弁▶市は今後、中学校の休日における部活動について「地域でのスポーツ活動」へ移行していく方針です。課題としては、指導者の確保が一番大きく、参加費や保険代の受益者負担への理解など解決しなければならない課題が多々あります。令和8年度以降スタートする休日の部活動をスムーズに地域へ移行できるよう今後はさらなる課題の洗い出し、検証、解決に向けた調査研究を進めていきます。



牛久市のゴミのポイ捨て問題について

とがし みさえ
富樫 美佐繪さん (牛久南中学校3年)

ポイ捨て防止のため、環境美化の日以外にどのような取り組みを行っていますか。また、公園などにバスケットゴールのようなゲーム感覚で楽しめるゴミ箱を設置すること、放送での呼びかけで意識を高めてもらうことを提案します。

答弁▶市では、公園や道路等のごみの回収や、年3回の市内一斉清掃活動、環境美化キャンペーン等を実施しています。ご提案の件も想像力を活かしたものですが、全国的にごみ散乱防止のためごみ箱は撤去されているのが現状です。また、防災無線は自然災害などの非常事態や人命に関わるもの、緊急かつ重要なもののみ使用が認められ、ポイ捨て禁止について放送することは厳しい状況です。今後も広報や啓発活動に力を入れていきます。



子供の安心と安全を守る政策について

おおたけ みりあ
大竹 未莉亜さん (おくの義務教育学校8年)

日本で年間数十人の子供が虐待で亡くなっていることを知りました。市での子供への虐待を予防することを含め、現在の詳しい政策と今後の対応をお聞かせください。

答弁▶市は不安を軽減し安心して子育てができるよう、妊娠期から子どもの年齢や成長に応じた切れ目ない支援を行っています。虐待についても保健師や家庭相談員が相談に応じ、気持ちに寄り添いながら問題解決方法を一緒に考え、市の担当や児童相談所等の関係機関と協力して対応しています。今後も子どもの安心・安全が守られることを第一に考え、一人ひとりの状況に応じた支援を充実できるよう取り組んでいきます。



牛久市で推進している学び合いについて

あおの こうだい
青野 偉大さん (牛久第一中学校3年)

小学校入学時から「学び合い」、「聞き合い」、困っているときは協働し合って学習に取り組んできました。児童・生徒の学びにどのような学習効果や成果があるのか、具体的に教えてください。

答弁▶市では10年以上前から、1つの課題を仲間と協働し、さまざまな意見を出し合いながら解決する「学び合い」の授業に取り組んでいます。「学び合い」の授業で大切にしている「聴き合う関係」で身に付いた力は、二十歳の集いで静かに話を聞く先輩方の姿に表れています。また、学力面でも成果がでており、中学2年生や3年生になると学力調査で国や県の平均より10点以上上回る結果が出ています。市としては今後も子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を身に付けていけるように、一人一人が幸せに学べる授業づくり・学校づくりに取り組んでいきます。



交通等の安全に関する対応について

かめざき げんた
亀崎 元太さん (牛久南中学校3年)

道路法で禁止されている、乗り入れブロックなどが市内住宅街にあります。段差の解消について対策はしているのか、また、安全面を考えると補助金があってもよく、なぜ歩道の切り下げは自費工事なのかお聞かせください。

答弁▶乗り入れブロックの撤去はホームページ掲載のほか、広報紙にも掲載し、お願いをしており、その結果、撤去や切り下げ工事が増えたこともあります。また、新しく歩道を作る工事などは市が行いますが、その後、その土地に住んでいる方の都合で工事する場合はその方の市へ申請の上、自費工事となります。なお、補助金については安全な道路環境確保のための有効なツールと考えられるので今後調査検討していきます。



牛久市の教育について

たかはし さら
高橋 空さん (牛久第三中学校3年)

私たちは支給されたタブレット端末を使用し学習しています。これは市がどのように予算を組んでいるのか、故障した場合の修理費用は誰が負担するのかお聞かせください。

答弁▶市は令和2年度にタブレット端末を整備しました。導入時に全ての端末に物損保証を付帯しています。これは自然故障のほか、落下や水濡れなど突発的なアクシデントによる破損にも対応した保証で、重大な過失や故意によるもの以外は補償対象となり、修理費は発生しません。付帯することで修理費は無償になりますが、物損保証代が端末の価格にプラスされ、市が負担しています。整備には大切な税金が使われていることを十分に理解し、大切に使用していただくようお願いします。



いじめ対策について

つじ れお
辻 礼央さん (ひたち野うしく中学校1年)

いじめを根本的に解決するためには、市全体の良い雰囲気づくりに重点を置くべきだと思っており、多様性を受け入れ、価値観の違いや性格を理解し、認め合う雰囲気であればいじめ防止に繋がると考えます。これについて市の考えをお聞かせください。

答弁▶学校だけでなく、地域が学校を核として繋がり合うことがいじめ防止だけでなく、子どもたちが安心して学ぶためには必要です。そのため市には地域の方も学校運営に関わる「学校運営協議会」での活動やプロスポーツチームとのイベントがあります。今後も市や地域などが主催する交流の場で子どもたちが自ら地域と関わることで、他者を思いやる人間性を育成し、いじめを生み出さない繋がりがづくりとなればよいと考えます。



高齢化社会への対応について

ごとう てんま
後藤 天真さん (下根中学校2年)

市の高齢化率は約30.2%と日本の平均より高いことが分かりました。高齢者が安心して暮らせるようにどんな取り組みをしていくのか、どのようなことが大切だと考えるのかお聞かせください。

答弁▶生涯、健康であることが豊かな生活を送るための大切な要因となるため、市では年齢を問わず、運動や食事などの健康に関する対策を取っています。また社会全体で支える仕組みとして介護保険制度があります。高齢者の方々が抱える不安や不便を少しでも減らすことが大切であり、市が提供するサービスと家族や地域の心のこもった手助けがあってこそ、安心した生活ができると思います。積極的に高齢者の方々へ接していただき、暮らしやすいまちづくりへのご協力をお願いします。